

住宅耐震改修工事費補助の交付申請書の記入例

宝塚市住宅耐震化促進事業
補助金交付申請書

建築指導課に提出する日付を記入。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 宝塚市長

郵便番号も忘れず記入。

(申請者)

住所	〒665-0032 宝塚市東洋町1-1
氏名	(※団体の場合は、団体名、役職及び代表者氏名) タカラヅカ タロウ 宝塚 太郎
電話番号	0797-77-1141
電子メール	m-takarazuka0000@city.takarazuka.lg.jp

(上記代理人)

氏名	※事業所等の名称、役職及び担当者氏名 〇〇株式会社 建築 一郎
電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
電子メール	〇〇〇〇@〇〇〇〇

宝塚市住宅耐震化促進事業実施要綱第5条の規定により、補助金の交付を受けた
ので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

住宅の所在地	宝塚市東洋町1-1		
住宅の所有者氏名 <small>(団体の場合は、その名称及び代表者氏名)</small>	宝塚 太郎	住宅の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 (長屋・アパート等) <input type="checkbox"/> マンション (3階以上かつ1,000㎡以上)
申請者と住宅所有者の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 同じ <input type="checkbox"/> 所有者の二親等以内の親族 (所有者の年齢: 歳) <input type="checkbox"/> その他 ()		
補助のメニュー※	住宅耐震改修工事費補助		
申請額	補助事業の対象となる経費	補助金交付申請額	
	1,050,720円	840,000円	
事業の予定期間	着手	令和〇〇年〇〇月〇〇日	完了 令和〇〇年〇〇月〇〇日

※補助のメニューは、次のいずれかを記載

- ・住宅耐震改修計画策定費補助、
- ・住宅耐震改修工事費補助、
- ・簡易耐震改修工事費補助、
- ・屋根軽量化工事費補助、
- ・シェルター型工事費補助、
- ・防災ベッド等設置費補助

市町受付欄	<p>「着手予定年月日」は、建築士事務所等との契約 予定日（交付申請日より後の日付）を記入。 ※契約は交付決定日以降に行う必要があります。</p>	<p>「完了予定年月日」は、工事代 金の支払予定日を記入。</p>
-------	---	---------------------------------------

住宅耐震改修工事費補助の交付申請書の記入例

耐震改修工事住宅概要書（個表）

住宅の名称	宝塚 太郎 邸		(住宅耐震改修工事費補助)	
住宅の所在地 (地番)	宝塚市東洋町1-3			
住宅の所有者 <small>(所有者と申請者が ■同一 □異なる)</small>	氏名	宝塚 太郎	<small>(所有者と申請者が異なる場合のみ記載)</small> 生年月日 年 月 日	
	住所	〒665-0032 宝塚市東洋町1-1 電話 0797-71-1141		
申請者 <small>(住宅所有者と申請者が異なる 場合のみ記載)</small>	氏名		所有者との関係	
	住所	〒 電話		
工事監理者 又は施工者	事務所等名	(株)兵庫工務店		
	担当者氏名	兵庫 次郎	Tel.〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
建築確認年月日	昭和51年 5月23日 第1234号 ・ 不明			
検査済証	昭和51年10月29日 第6789号 ・ 不明			
建築年月	昭和51年10月頃竣工 証明書と整合させて下さい。※1			
形態種別	① 戸建住宅 2 その他共同住宅 3 マンション 棟数 1棟、戸数 1戸 (うち補助対象戸数 1戸)			
規模 <small>改修前：上段()書き 改修後：下段</small>	地上 (2) 階 地下 (-) 階 塔屋 (-) 階			
	建築面積 (81.15) m ² 延べ面積 (110.00) m ²	81.15 110.00		
設備要件	① 居室 ② 台所 ③ トイレ ④ 出入口			いずれか一つでも備えていない場合は補助対象外です。
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積 45.0 m ²	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合	40.9%	
構造種別	① 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他 ()			50%以上の場合は補助対象外です。
備考	※1 証明書について 登記簿謄本の写し、固定資産税台帳登録証明、建築確認通知書又は検査済証の写し等で所有者、所在地、建築年月の確認を行います。			

添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

※2 申請者の収入、兵庫県民の確認について

- ・ 市役所が発行する、直近年度の所得証明書で確認を行います。なお、収入（宝塚市の場合）については、「合計所得」欄の金額で判断します。
(収入要件：所有者の所得が1,200万円（給与収入のみの者は給与収入が1,395万円）以下。)
- ・ 交付申請時点で兵庫県民でない場合、完了報告の時点で申請者が兵庫県民であることを確認します。

“算定”を○で囲み、“精算”を二重線で消す。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

補助金 **算定** 精算書

住宅改修業者登録制度の登録番号を記入。

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第 〇〇〇〇〇 号
 所在地 〇〇市〇〇 〇-〇-〇
 会社名 (株)兵庫工務店
 代表者名 兵庫 次郎

“見積”を○で囲み、“精算”を二重線で消す。

下記のとおり **見積り** ・ ~~精算~~ 致します。

“住宅耐震改修工事費補助”を○で囲み、“住宅耐震改修計画策定費補助”を二重線で消す。

(住宅耐震改修計画策定費補助、住宅耐震改修工事費補助)

住宅の所有者	宝塚 太郎		
住宅の所在地	宝塚市東洋町1-1		
住宅の建て方 ※1	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="radio"/> その他共同住宅 <input type="radio"/> マンション		
(その他共同住宅の場合)	住戸数(ア)		戸
	うち補助対象戸数(イ) ※2		戸
(マンションの場合)	住戸数(ア)		戸
	延べ面積(イ)		m ²
総工事費 (c)=(a)+(b)		1,683,600円	
補助対象工事費 (a)		1,050,720円	
その他工事費 (b)		632,880円	
控除前の補助金額※3 (f)		840,000円	
控除する補助金額※4 (g)	補助金額は、下表による金額とし、千円未満は切り捨ててください。		0円
補助金額の計(h)=(f)-(g)		840,000円	

- ※1 住宅の建て方について、該当するものに○を付けてください。
- ※2 所得が1,200万円（給与収入のみの者にあつては給与収入が1,395万円）以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。
- ※3 住宅耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。（住宅耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要）
- ※4 この事業又は県補助事業「ひょうご住まいの耐震化促進事業」若しくは「わが家の耐震改修促進事業」のうち「簡易耐震改修工事費補助」、「簡易な耐震改修定額助成」、「シェルター型工事費補助」若しくは「住宅耐震改修工事費補助（居室耐震型改修工事）」の補助金を過去に受けた住宅について、それら事業で交付を受けた補助金額を記載
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで変更後の額の前に記載してください。
 (例：(123,456) 234,567)

【控除前の補助金額(f)の算定表（住宅耐震改修工事費補助の場合）】（千円未満の端数切捨て）

区分	補助金額				
戸建住宅	(補助対象工事費) × 4/5 (上限100万円)				
その他共同住宅	次に掲げる額のいずれか低い額 (1) (補助対象工事費) × 4/5		(2) (補助対象戸数) × 40万円		
マンション	次に掲げる額のいずれか低い額 (1) (補助対象工事費) × 1/2 (2) 延べ面積（居住の用に供する部分）に応じた下表の絶対限度額				
	延べ面積の区分	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 以内	5,000 m ² を超え 10,000 m ² 以内	10,000 m ² を超え 15,000 m ² 以内	15,000 m ² 超
	絶対限度額	1,000万円	2,000万円	3,000万円	4,500万円

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

耐震診断報告書

宝塚 太郎 様

補助金交付申請者名を記入。

耐震診断者氏名 **建築 一郎**
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 43210 号
建築士事務所名 (株) 〇〇建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (大臣) 知事登録第 98765号

宝塚 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

診断方法、根拠となる書籍名(〇年版も含めて)などを具体的に記入。

記

1 住宅の名称	宝塚 太郎 邸
	所在地 宝塚市東洋町1-1
2 耐震診断の方法	「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
3 改修前における耐震診断結果*1 評点 <u>0.64</u>	(所見) X方向・Y方向とも開口部が多く、既存壁量が不足していることから、上部構造評点が1階X方向 0.64、Y方向 0.72 となっており、倒壊する可能性が高い。
4 改修後における耐震診断結果 評点 <u>1.08</u>	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方とも 1.0 を上回り、耐震性能の向上を図る。
	(具体的な補強方法) (1) 耐震壁 (モイスかべつよし) をバランスよく追加、増設する。 (2) 屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。
5 備考	改修後の評点が著しく高い場合 (2.0 以上) は、理由書を添付して下さい。 改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is 値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述して下さい。

【添付資料】耐震診断計算書 (改修前後)

耐震改修工事实績公表同意書

(宛先) 宝塚市長

工事実施業者（様式第耐震2号に記入した業者）が記入して下さい。

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇号
所在地 宝塚市〇〇 〇-〇-〇
会社名 (株)兵庫工務店
代表者名 兵庫 次郎

下記のとおり、本工事の実績を公表することについて、同意します。

記

- 業者について
住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先（TEL）、実施件数
- 工事内容について
住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所(市町名のみ)、補助種別、建て方、構造、
建築年月、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、
延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷（改修後評点-改修前評点）